

今月の技術対策 (畜産編FAX情報)

留萌農業改良普及センター・留萌地区農協酪農畜産対策協議会

TEL : 0164-62-1779 FAX : 62-2474

E-mail: rumoi.nakanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp

その他情報も
HPで公開中!

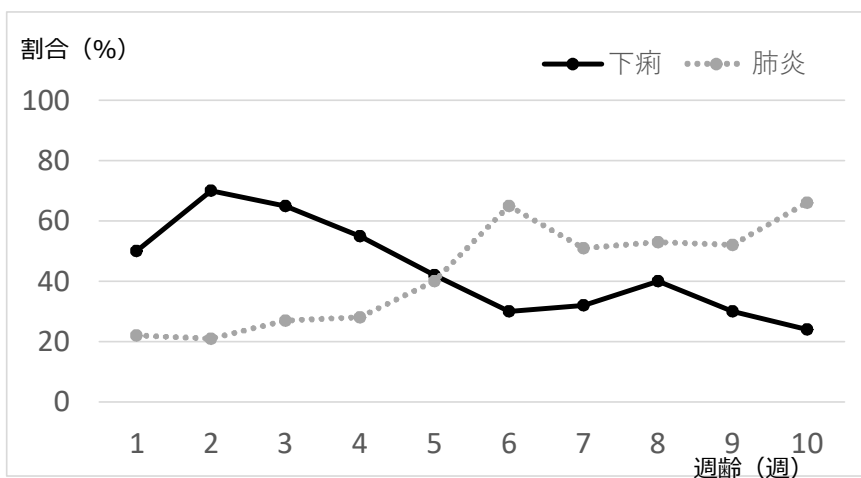
生産抑制時の技術対策⑨

～子牛の管理① 下痢対策は肺炎対策に通じる～

下痢の発生により体力や免疫力が低下することで肺炎・その他疾病に罹るケースが多く、「肺炎対策は下痢対策から」と言われています。

それは、下痢が発生した後に肺炎が多くなることからわかります(グラフ参照)。

健康な子牛を育てるために、適切な対策で下痢を予防しましょう。



週齢別の疾病発生割合 (イメージ図) ※参考「子牛の科学」

下痢対策のポイント

【衛生管理の徹底】

- 清潔で乾燥した敷料を十分に入れる
- こまめに敷料を交換する
～子牛の前膝が汚れていたら敷料交換のサイン!
- ほ乳器具・バケットミルクカーは、洗剤とブラシでしっかり洗浄する

【初乳の給与】

- 出生後できるだけ早く給与する
～遅くても生後6時間以内!
- 飲めるだけ給与する
～できれば3L以上
- 良質な初乳を給与する
～測定機器(糖度計など)で品質を確認

【ミルクの給与方法】

- 基本は「定時」・「定量」・「定温」
～決まった時間に決まった量を40℃程度の温度で給与する
- ※代用乳を給与する場合は濃度にも注意!
メーカーが指定する濃度を守りましょう。

【寒冷ストレスの軽減】

- 体をぬらさないようにし暖かく保つ
～カーフジャケット・ヒーターの活用
- 寒風にさらさない
- エネルギー源の増給
～給与量を増やす・高脂肪の代用乳給与